

社会福祉法人鶴足津福祉会
介護職員初任者研修実技評価方法(評価基準)

実技評価は、研修科目「9.こころとからだのしくみと生活支援技術」の中で、介護技術の習得度について各細目ごとの評価チェックリストを使用し、演習時間内に各講師が評価を行う。

A(良く出来ている)B(出来ている)C(だいたい出来ている) →合格

D(一部理解が不足している)E(理解が出来ていない) →不合格

各チェック項目の判定の内、合格の判定(A・B・C)が全体の 6 割以上で実技評価合格とする。

不合格となった場合は、補講の上、再度評価を行う。基準を満たすまで繰り返す。

①整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護

確認項目		チェック
1.	利用者の体調の確認ができたか。	
2.	これから行う介助について説明し同意を得られたか。	
3.	着替えの衣類は自分で選ぶことができたか。	
4.	「脱健着患」の原則は守ることができていたか。	
5.	利用者ができることは利用者が行うよう支援できていたか。	

②移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護

確認項目		チェック
1.	移動・移乗の可否を判断するために体調の確認ができていたか。	
2.	これから行う介助について説明し同意を得られたか。	
3.	自立に向けた自然な動きを理解できていたか。	
4.	ボディメカニクスを活用できていたか。	
5.	利用者ができることは利用者が行うよう支援できていたか。	

③食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護

確認項目		チェック
1.	利用者の体調の確認ができたか。	
2.	これから行う介助について説明し同意を得られたか。	
3.	食事の際の姿勢が適正になるよう介助できていたか。	
4.	利用者のペースに合わせ、水分からすすめ食事できるように配慮できていたか。	
5.	利用者ができることは利用者が行うよう支援できていたか。	

④入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護〈清拭〉

確認項目		チェック
1.	利用者の体調の確認ができていたか。	
2.	これから行う介助について説明し同意を得られたか。	
3.	プライバシーに配慮した介助ができていたか。	
4.	湯温の確認等、安全に配慮できていたか。	
5.	利用者ができることは利用者が行うよう支援できていたか。	

⑤排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護〈ポータブルトイレ介助〉

確認項目		チェック
1.	利用者の体調の確認ができていたか。	
2.	これから行う介助について説明し同意を得られたか。	
3.	プライバシーに配慮した介助ができていたか。	
4.	排泄物の量・色・におい・性状を観察できていたか。	
5.	利用者ができることは利用者が行うよう支援できていたか。	

⑥睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護〈ベッドメイキング〉

確認項目		チェック
1.	利用者の体調の確認ができていたか。	
2.	これから行う介助について説明し同意を得られたか。	
3.	シーツ交換の手順は適切であったか。	
4.	ボディメカニクスを活用できていたか。	
5.	しわやたるみがなく、しっかりとコーナーをつくることができたか。	

⑦総合生活支援技術演習〈事例〉

K様 75歳 認知症 着衣の乱れを整える 昼食後「ご飯を食べていない」という方への対応

確認項目		チェック
1.	ゆっくりとした口調、適度な声の大きさ、笑顔で声をかけることができたか。	
2.	これから行う介助について自尊心を傷つけないように説明し同意を得られたか。	
3.	上着を整える際、利用者ができることは利用者が行うよう支援できていたか。	
4.	「食べてない」ということに対して否定的な言葉を避け対応できたか。	
5.	代替案等を提示し、納得していただけるよう声かけができたか。	